

関東甲信越土を考える会 夏期研修会を開催しました

2026年7月15日



挨拶する渡邊会長

関東甲信越土を考える会は、7月8日(水)、新潟県では19年ぶりとなる夏期研修会を開催しました。今回の研修会は【『土づくり』と『経営効率化』の現場へ! 先進農家のほ場&肥料工場を巡る 新潟視察研修】と題し、気温35℃を超える猛暑の中、会員および一般参加の生産者、企業、事務局を合わせた総勢50名が参加しました。

渡邊会長の挨拶で幕を開けた後、最初の視察先としてご協力いただいた有限会社アシスト二十一 代表取締役の木村清隆さんより、経営の考え方、土づくり、営農管理の取り組み、デントコーン栽培を始めた経緯についてお話いただきました。

その後、乾田直播で栽培された水稻ほ場を視察しました。現地では、ドローンを活用した追肥や防除による省力化への取り組み、除草のタイミングなどについて説明いただくとともに、乾田直播の作業効率や収量とのバランス、乾直のWCSとイタリアンライグラスの二毛作を見据えた作期の考え方など、実際の栽培経験に基づくお話を伺いました。参加者からは活発な質問が寄せられ、一つひとつ丁寧に答えいただきました。

次に、一面に水稻が広がる新潟のほ場の中にある、約4メートルまで成長したデントコーンほ場を視察しました。品種を使い分けることで収穫時期を分散していることや、水管理が不要であるため水稻栽培より省力化が図れること、さらに地域の酪農家との連携による飼料供給についてなど、多くの貴重なお話を伺いました。



アシスト二十一様にて

続いて、新潟県新潟市北区にある「片倉コープアグリ株式会社 新潟ファクトリー」を訪問しました。設備更新工事中のため、肥料の製造工程を見学することはできませんでしたが、施設の見学と、座学では工場立地の経緯や肥料の製造工程、製品の紹介に加え、原料調達に関する質問などにもお答えいただきました。

研修終了後は、新潟東映ホテルに場所を移し、情報交換会を開催しました。関東での開催ではなかなか参加が難しい新潟の皆さんとの交流を深める有意義な時間となりました。

本研修会の開催にあたり、ご協力いただきました関係者の皆様、ならびにご参加いただいた皆様に心より御礼申し上げます。



アシスト二十一 代表取締役 木村清隆さん



水稻ほ場視察



デントコーンほ場視察



片倉コープアグリ新潟ファクトリー見学



工場の説明および新肥料の紹介

